



中井やまゆり園における虐待事案等の概要 (外部調査委員会調査結果報告書から)

令和4年12月18日
神奈川県

中井やまゆり園の概要

所在地 神奈川県足柄上郡中井町

種類 障害者総合支援法第5条に規定する障害者支援施設（知的障がい者対象）

開設 昭和47年4月

運営 県直営

定員 122名（現員90名）

平均障害区分 5.9

平均年齢 46歳

平均在籍 18年7か月



中井やまゆり園における不適切な支援

(1) 経緯

令和2年 7月

利用者目線の支援推進検討部会を設置

(障がい当事者、学識者、施設関係者、家族関係者で構成)

- ➡長時間の身体拘束が確認され、身体拘束が重大な人権侵害であるという認識の不足や施設の閉鎖性等を指摘

12月

身体拘束ゼロの実現を目指し、身体拘束実施状況の公表を開始

3年 9月

支援改革プロジェクトチームを設置

(障がい当事者、学識者、施設関係者、医療関係者、県で構成)

- ➡身体拘束について当事者目線による改善を議論
＜令和2年12月＞61件 → ＜令和4年10月現在＞13件
- ➡令和元年7月に発生した骨折事案の再調査の中で、事実であれば不適切な支援と思われる情報を複数把握

4年 3月

外部調査委員会を設置

(支援改革プロジェクトチームの外部委員で構成)

- ➡情報を把握した全91件を対象とする調査結果を令和4年9月に公表

(2) 外部調査委員会の調査結果

調査結果の概況

- ① **虐待が疑われる事案（25件）**
➡11自治体に虐待通報を実施（11月時点で3件が虐待認定、1件が不適切支援と判断）
- ② **不適切な支援等であり、速やかに支援方法等を見直すべき事案（12件）**
- ③ **事実の特定が困難な事案（17件）**
- ④ **事実が判然としていない事案（24件）**
➡支援改革プロジェクトチームの助言をいただきながら、県と園が調査を継続
- ⑤ **事実ではなかった事案（8件）**
- ⑥ **過去の虐待事案で通報・公表済等の事案（5件）**

- ・ 虐待を受けた可能性のある利用者は計28名（実数）
- ・ 関与した可能性のある職員は計76名（実数）
- ・ 令和3年度12件、元年度9件のほか、9件は複数年度にわたり発生
- ・ 虐待が疑われる事案等の計41件は、7寮中4寮で発生

虐待が疑われる事案（一部）

- ・ 食堂の床に座り込む利用者を台車に乗せて移動させようとしたところ、職員の腕を噛んだため、制止しようとして、顔を平手打ちし、額を殴った
- ・ 利用者が居室の天井に便を投げつける行動に対して、天井が便まみれとなっている環境で生活をさせていた
- ・ 利用者の肛門内にナットが入っていた

(3) 調査結果に関する外部調査委員会の考察〈抜粋〉

- 人権意識の大きな欠如が生じ、利用者を人間として見られなくなっている。
- 不適切な対応を受けた利用者の多くは、民間施設での支援・対応が困難という理由で受け入れてきた背景があるが、地域との連携が途絶することとなり、その結果、閉鎖的な環境の中での不適切な支援が常態化した。
- 県は、利用者の生活状況の変化を定期的に把握しようとしてせずに放置しており、現場を十分に見ることがなかった状況も重大な問題である。

(4) 今後の対応

- 事実が判然としていない事案について、支援改革プロジェクトチームの助言をいただきながら、県と園が調査を行う。
- 支援改革プロジェクトチームにおいて、「改革プログラム」を作成し、改善の取組を進める。



条例が目指す「当事者目線の障がい福祉」を具現化していけるよう、園の再生に全力で取り組んでいく

調査結果を知事に報告（令和4年9月）

